

松商学園高等学校

全日制課程

学校評価 報告書

2025年度

自己点検・評価報告書／学校関係者・外部評価評価報告書



学校法人松商学園

松商学園高等学校

IR室

評価方法

学校評価の設問

学校評価アンケート結果（保護者・生徒・教職員）／授業評価アンケート結果（生徒・教職員）／卒業時アンケート結果（保護者・生徒）／

1	教育目標実施	7	教員相談	13	ホームページ
2	学習習慣指導	8	進路指導対応	14	家庭内会話
3	授業工夫	9	説明会・懇談	15	担任指導
4	授業進み方	10	課外活動	16	コース学年運営
5	生活指導	11	学校行事	17	教職員の行動・態度
6	問題対応	12	家庭連絡	18	保健・安全

【選択肢】

- ・とても当てはまる
- ・当てはまる
- ・あまり当てはまらない
- ・当てはまらない
- ・わからない

※非常勤教員は1～4に回答

授業評価の設問

生徒自身 についての質問	①【授業マナー】 あなたは、この授業でマナー（私語・いねむりをしない）を守っていますか？ ②【授業参加】 あなたは、自分なりの目標を持って、この授業に積極的に参加していますか？ ③【家庭学習】 あなたは、この授業に必要な家庭学習（予習・復習等）をしていますか？
授業についての質問 (総合評価)	④【話し方】 先生の話し方や説明の仕方はわかりやすいですか？ ⑤【板書等】 先生の黒板・ICTの活用方法（体育・芸術等は実技指導）は良いと思いますか？ ⑥【要点強調】 先生の授業は、重要なところが強調されていますか？ ⑦【授業難度】 授業の学習内容のレベルは、ちょうど良いと思いますか？ ⑧【授業速度】 授業を進めるスピードは、ちょうど良いと思いますか？ ⑨【理解確認】 先生の授業は、生徒の理解を確かめながら進められていますか？ ⑩【質問発言】 先生は、生徒の質問や発言を促し、ていねいに対応していますか？ ⑪【授業展開】 授業の進め方（組み立て）は、興味関心を引き、学習意欲をわかせると思いますか？ ⑫【教員熱意】 先生の授業に熱意を感じますか？ ⑬【公平対応】 私語などに対して適切な対応が取られ、公平で思いやりのある授業ですか？
授業についての 総合的な質問 (満足度)	⑭【満足度】 この授業は、あなたにとって良い授業だと思いますか？
進路についての質問 (進路アンケート)	あなたは、本校の授業で自分の目指す進学・進路を実現できると思いますか？

総合評価

選択肢

【 1 】 …… そう思う

【 2 】 …… どちらかといえばそう思う

【 3 】 …… どちらかといえばそう思わない

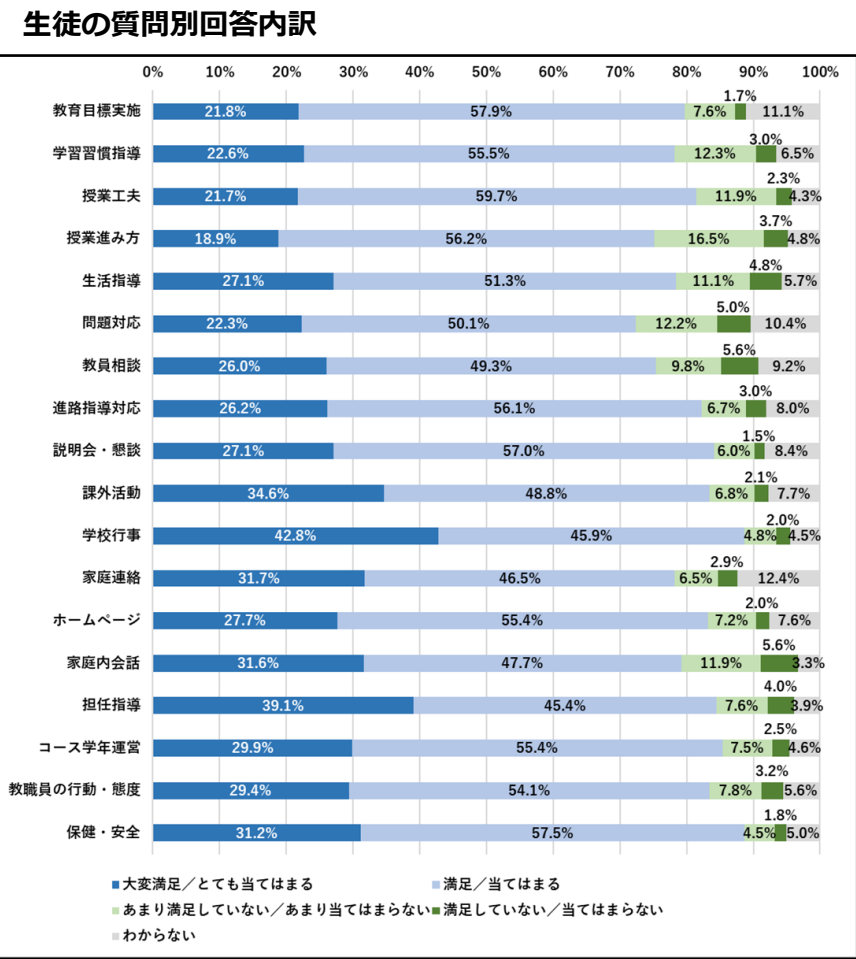
【 4 】 …… そう思わない

肯定的評価

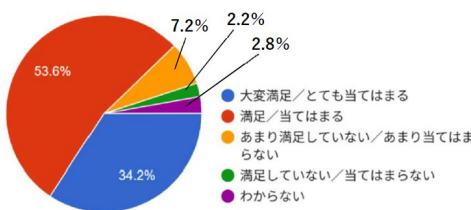
否定的評価

卒業時アンケートの
設問

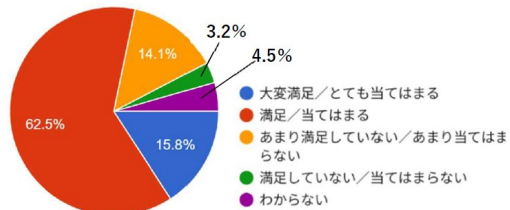
成長実感（グラデュエーション・ポリシーの自己評価）8問／満足度10問／その他属性等16問



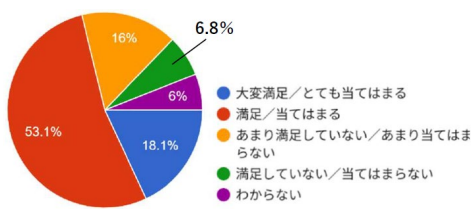
松商学園高校に入学してよかった



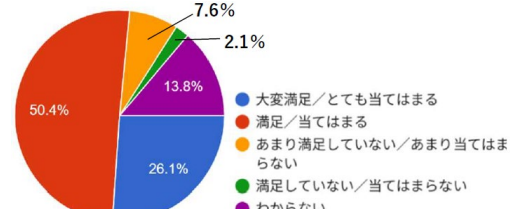
教員の授業指導は良いと思う



教員の生活指導は良いと思う

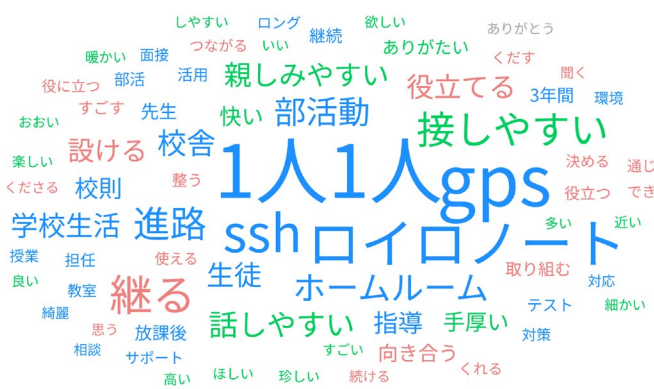


学校の相談・サポート体制は良いと思う

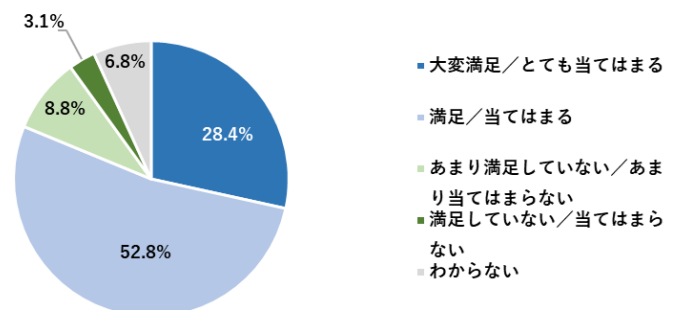


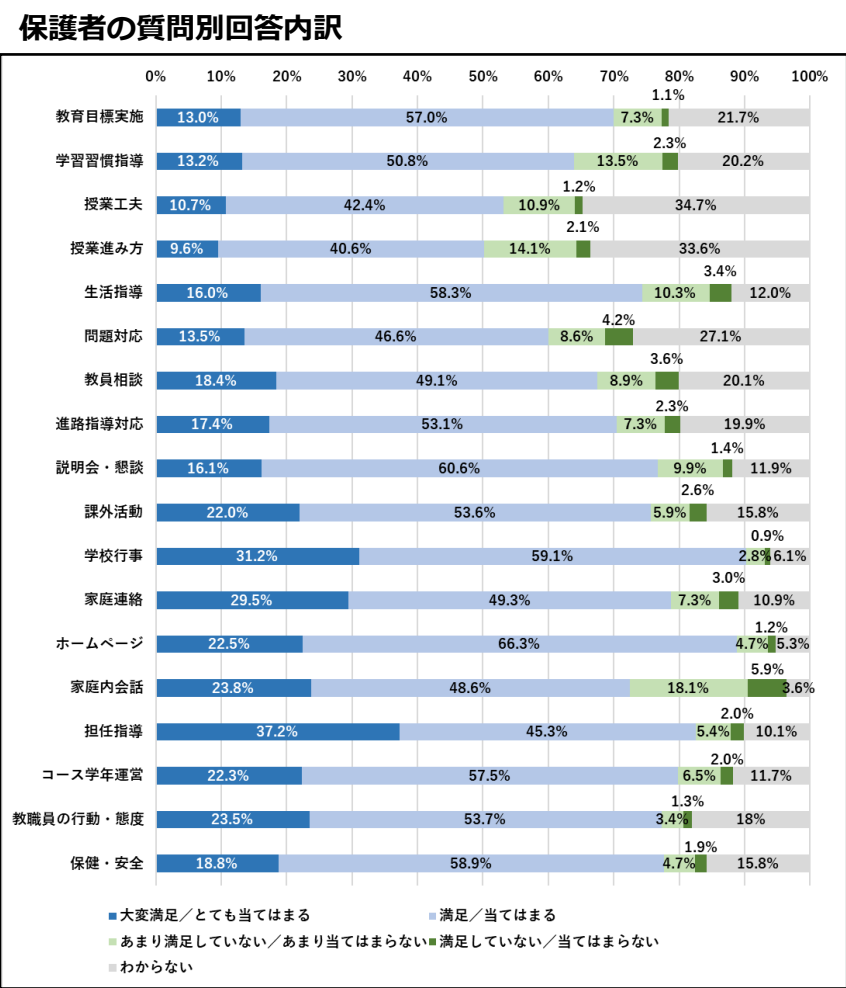
生徒の教育活動に対する自由記述AIテキストマイニング結果

スコア高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示している。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。

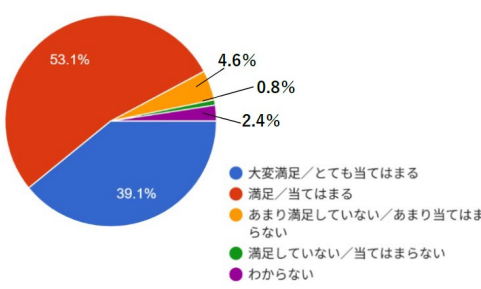


全質問における回答割合の平均

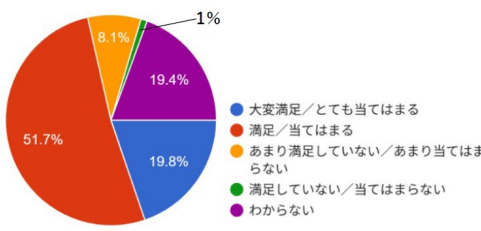




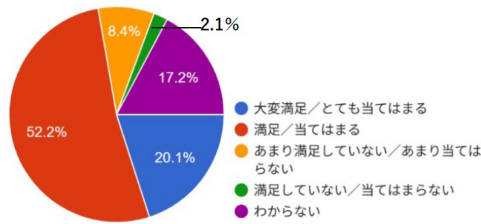
子どもが松商学園高校に入学してよかった



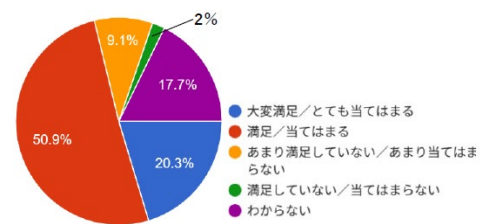
教員の授業指導は良いと思う



教員の生活指導は良いと思う

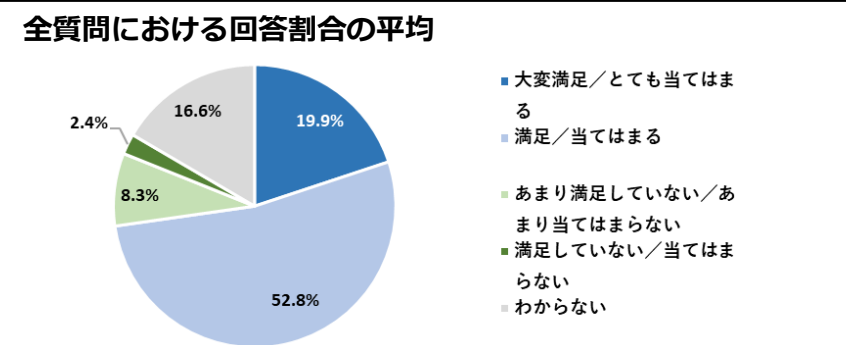
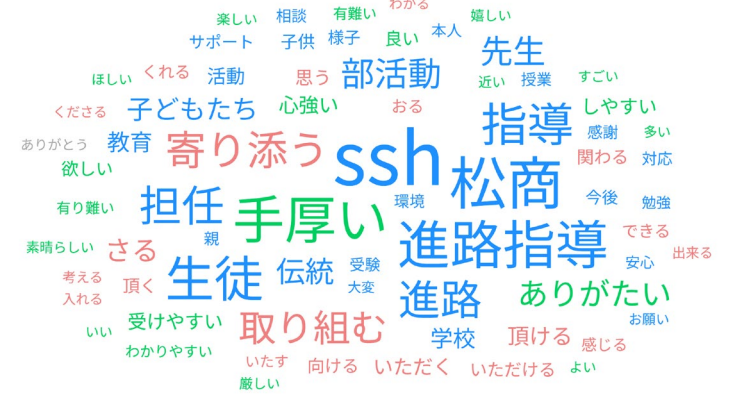


学校の相談・サポート体制は良いと思う

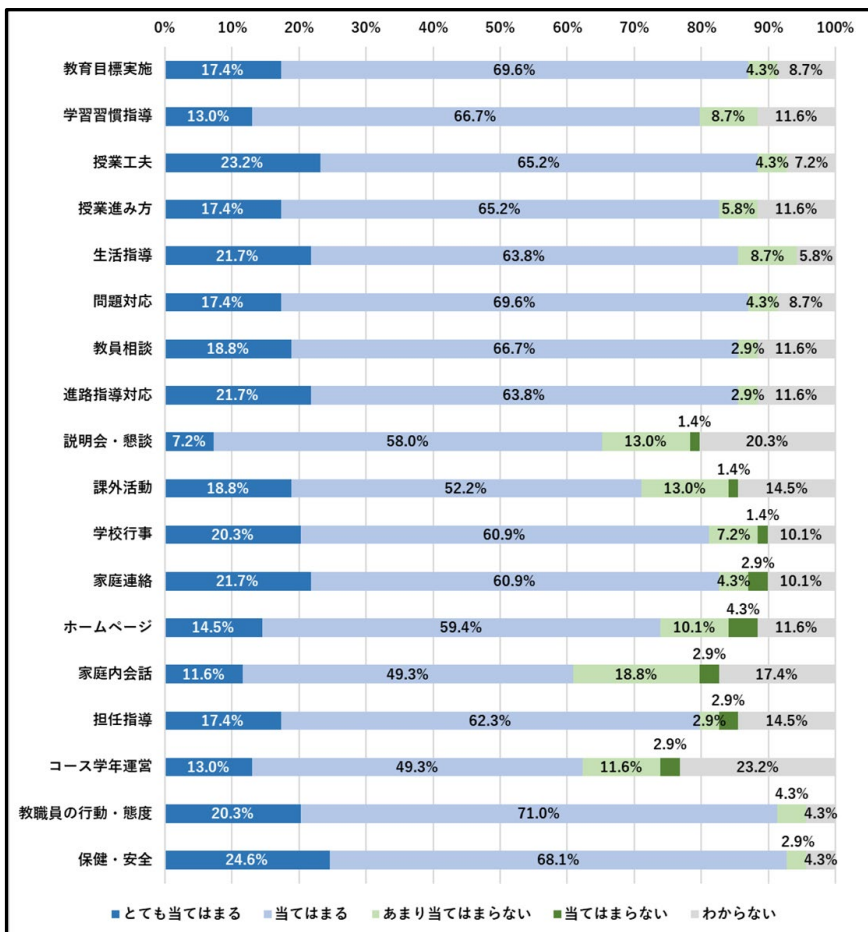


保護者の教育活動に対する自由記述AIテキストマイニング結果

スコア高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさを図示している。単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。



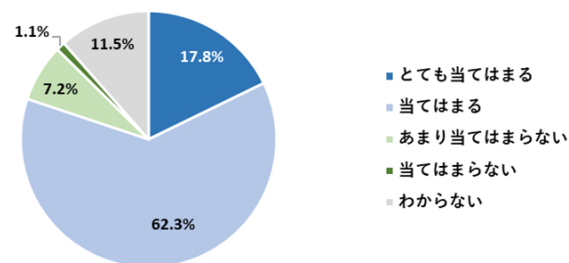
教員の質問別回答内訳



肯定的回答割合の昨年比較

番号	略名	25年度 A	24年度 B	差 A-B
1	教育目標実施	87%	83%	4
2	学習習慣指導	80%	88%	-8
3	授業工夫	88%	92%	-4
4	授業進み方	83%	90%	-7
5	生活指導	86%	83%	3
6	問題対応	87%	89%	-2
7	教員相談	86%	92%	-6
8	進路指導対応	86%	92%	-6
9	説明会・懇談	65%	74%	-9
10	課外活動	71%	87%	-16
11	学校行事	81%	86%	-5
12	家庭連絡	83%	84%	-1
13	ホームページ	74%	61%	13
14	家庭内会話	61%	63%	-2
15	担任指導	80%	88%	-8
16	コース学年運営	62%	75%	-13
17	教職員の行動・態度	91%	91%	0
18	保健・安全	93%	95%	-2

全質問における回答割合の平均



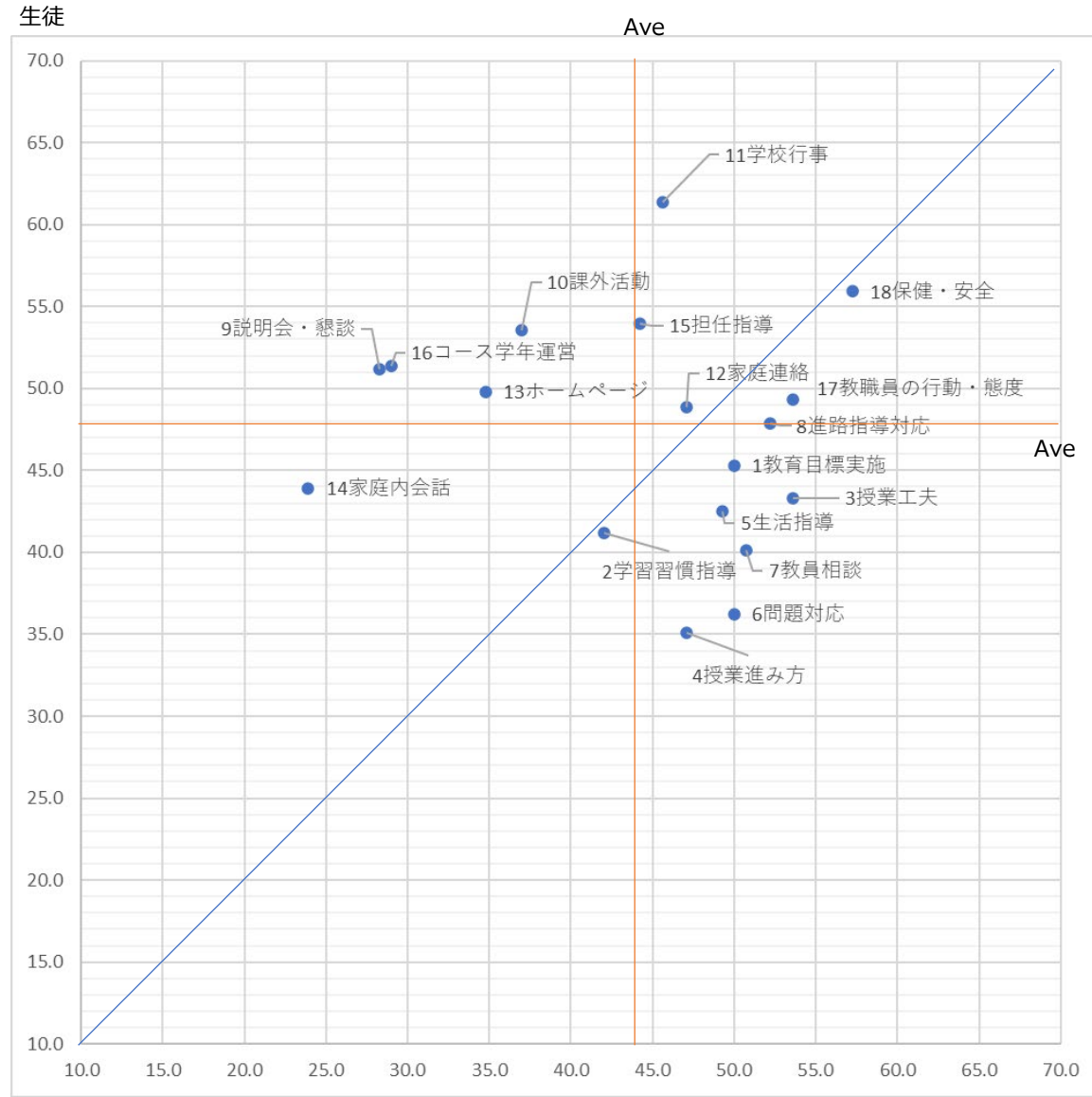
I 自己評価 (1) 学校評価アンケートの結果 (3者間比較)

回答を重みづけした3者間の比較

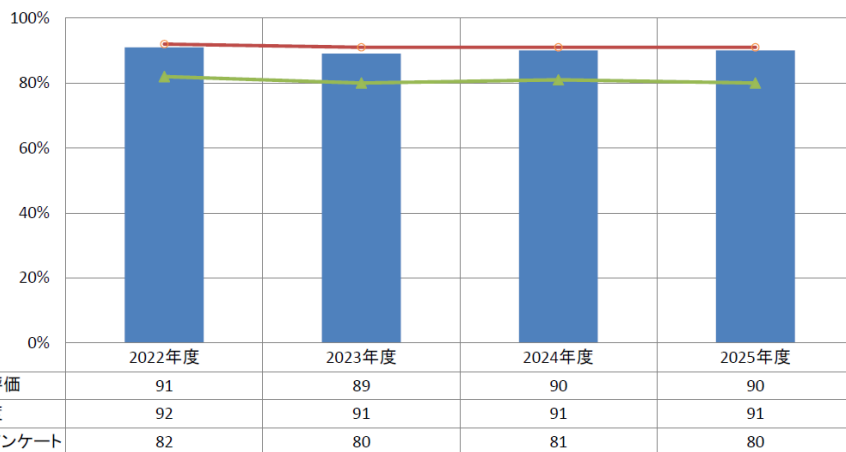
選択肢の回答割合(%)に以下の数値を掛け合わせており、
100から-100の範囲で表される。

とても当てはまる	・・・ 1
当てはまる	・・・ 0.5
あまり当てはまらない	・・・ -0.5
当てはまらない	・・・ -1
わからない	・・・ 0

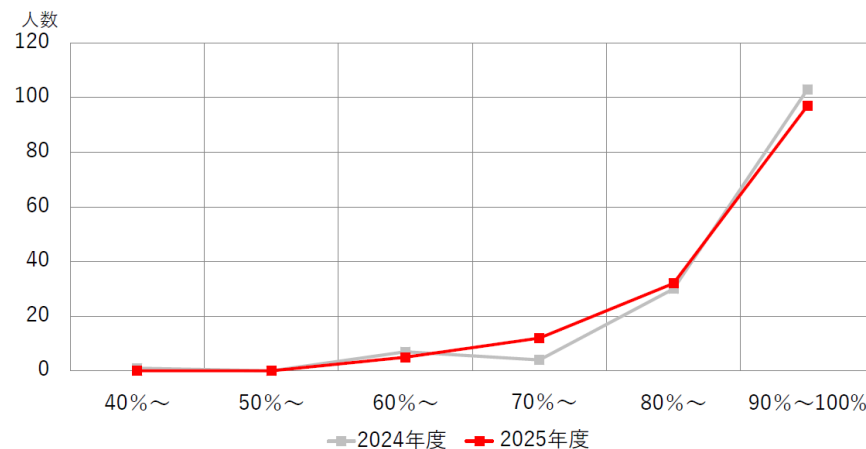
番号	略名	保護者	生徒	常勤教員
1	教育目標実施	36.8	45.3	50.0
2	学習習慣指導	29.5	41.2	42.0
3	授業工夫	25.3	43.3	53.6
4	授業進み方	20.6	35.1	47.1
5	生活指導	36.6	42.5	49.3
6	問題対応	28.3	36.2	50.0
7	教員相談	35.0	40.1	50.7
8	進路指導対応	37.9	47.9	52.2
9	説明会・懇談	40.0	51.2	28.3
10	課外活動	43.3	53.6	37.0
11	学校行事	58.4	61.4	45.7
12	家庭連絡	47.4	48.8	47.1
13	ホームページ	52.1	49.8	34.8
14	家庭内会話	33.2	43.9	23.9
15	担任指導	55.2	54.0	44.2
16	コース学年運営	45.8	51.4	29.0
17	教職員の行動・態度	47.4	49.3	53.6
18	保健・安全	44.0	55.9	57.2



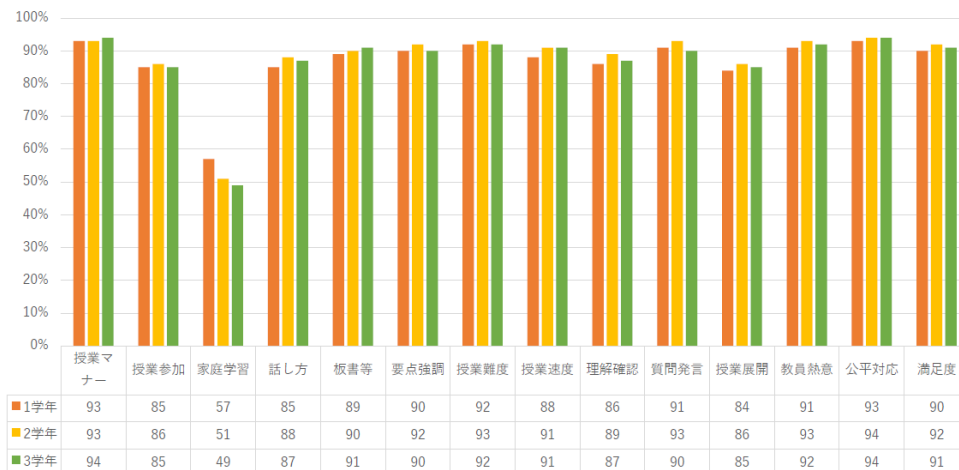
総合評価・満足度・進路アンケートの肯定的回答の割合



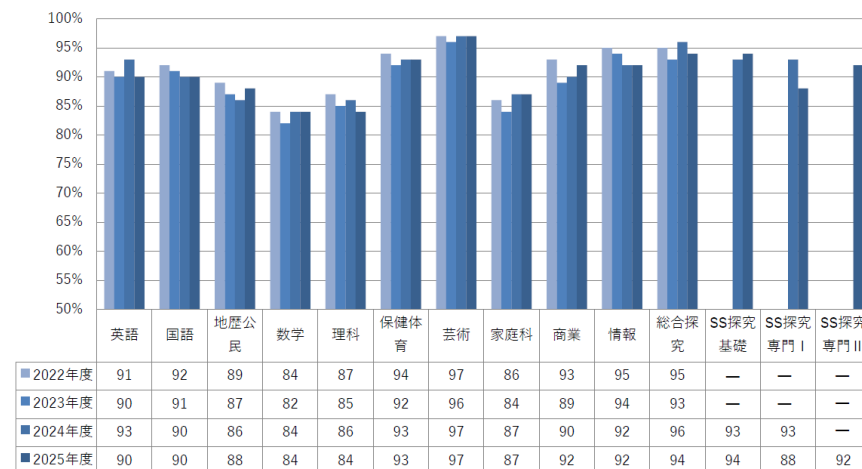
総合評価の肯定的割合（教員分布）



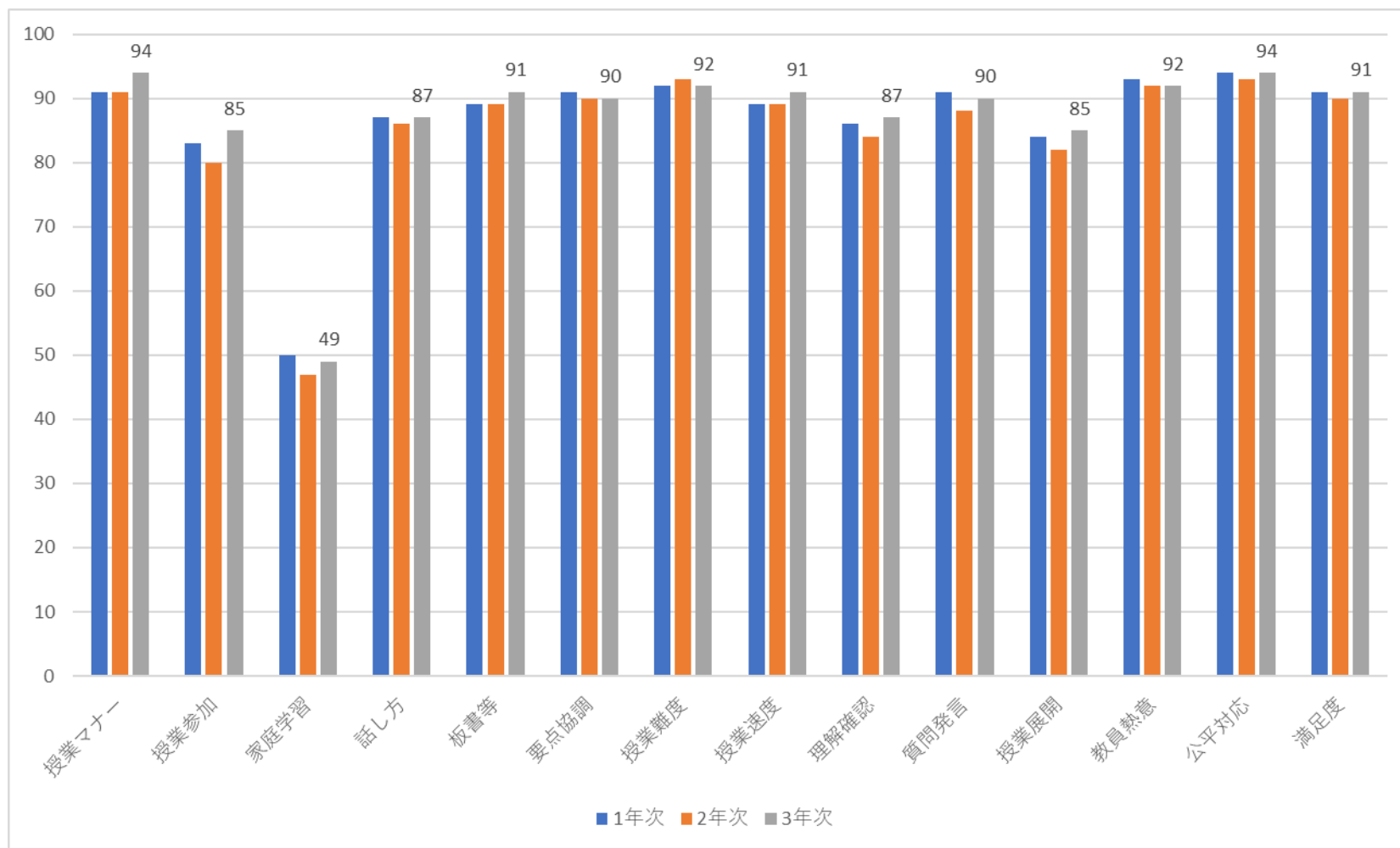
総合評価における質問別肯定的評価の割合



総合評価における教科別肯定的評価の割合



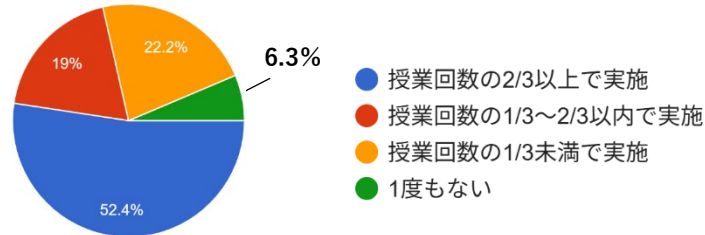
総合評価における質問別肯定的評価の割合（2023度入学生の3年間の推移）



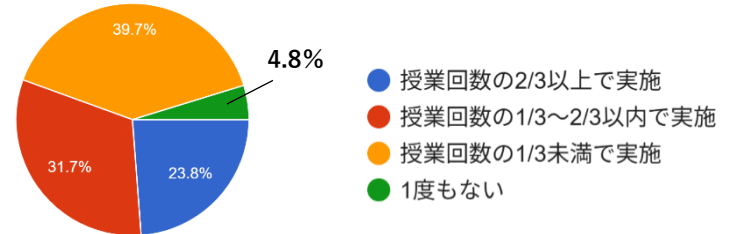
	授業マナー	授業参加	家庭学習	話し方	板書等	要点協調	授業難度	授業速度	理解確認	質問発言	授業展開	教員熱意	公平対応	満足度
1年次	91	83	50	87	89	91	92	89	86	91	84	93	94	91
2年次	91	80	47	86	89	90	93	89	84	88	82	92	93	90
3年次	94	85	49	87	91	90	92	91	87	90	85	92	94	91

生徒による授業評価アンケートを踏まえて、専任教員が自身の授業を振り返るアンケートとして実施 ※実技・実習科目含む

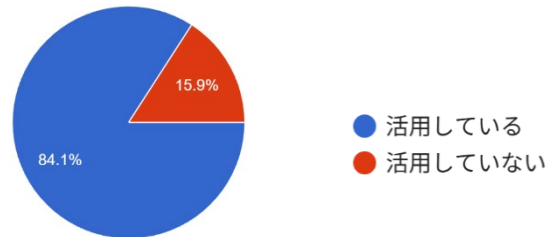
ICT機器やシステムを使った教材提示や資料配布をしていますか



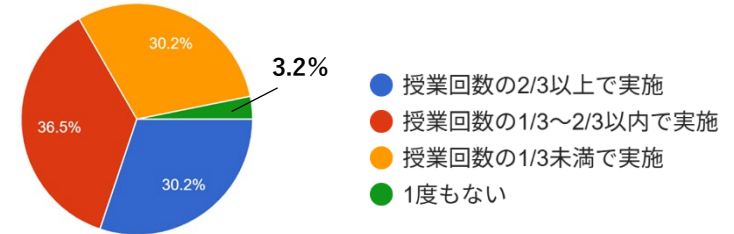
対話的な授業（アクティブラーニング）を実施していますか



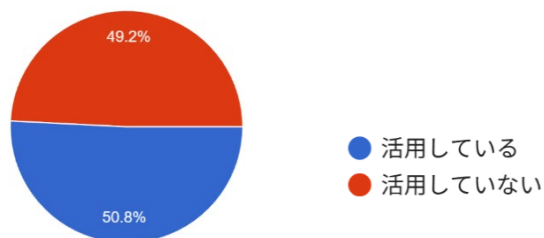
副教材や宿題、課題提出においてWEBシステムを活用していますか



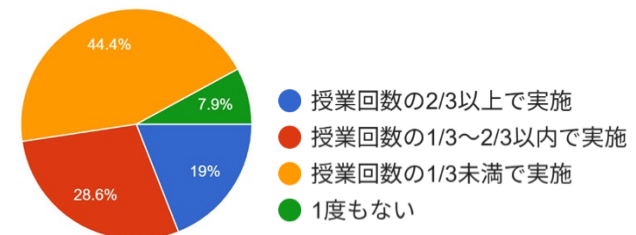
授業時間内で振り返りや質問を受ける機会を設けていますか



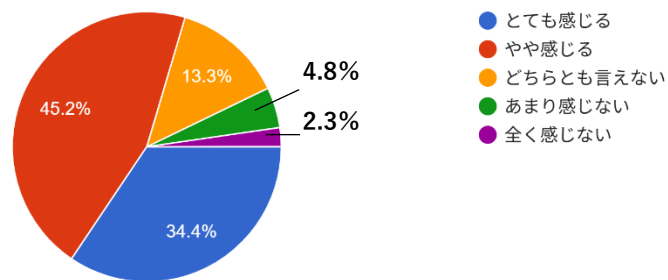
教科授業の中で生成AIを活用していますか



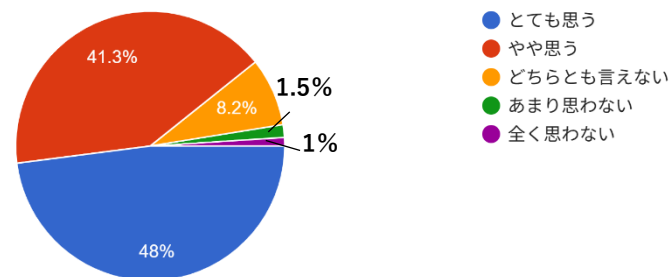
課題や宿題を課していますか



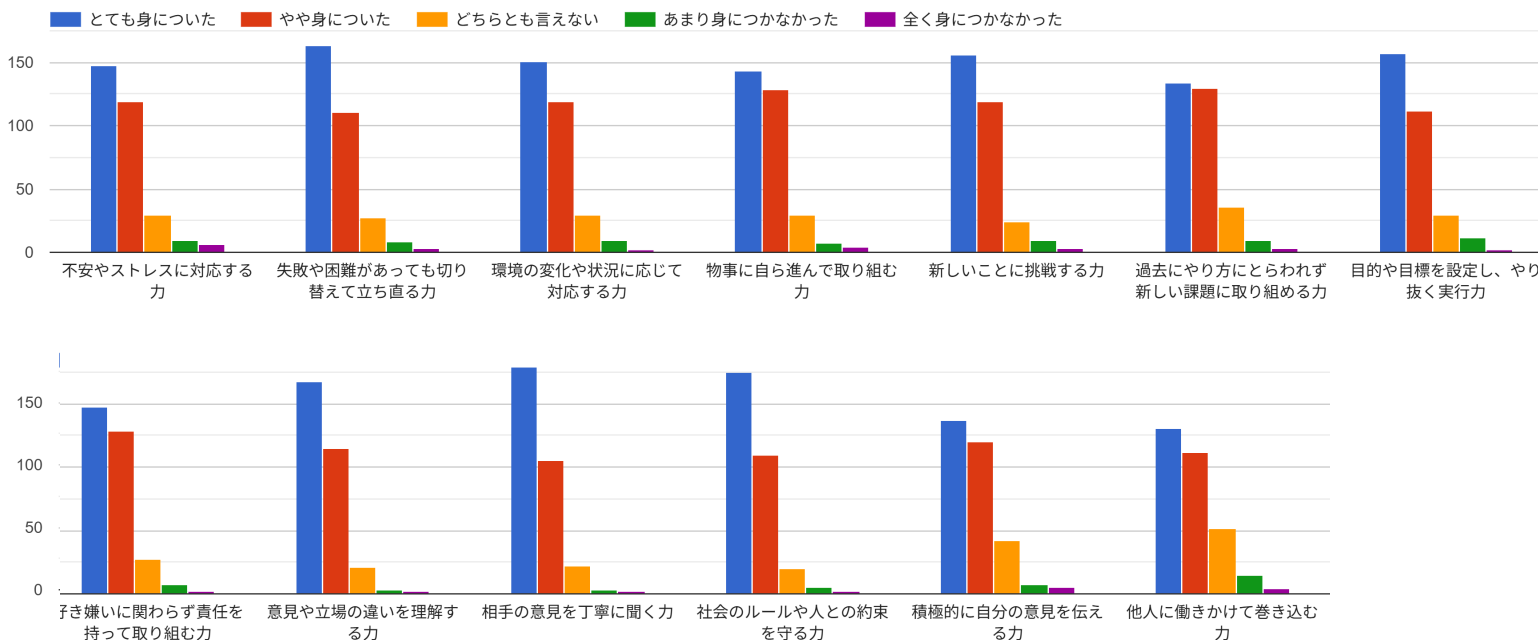
松商学園に入学して幸せを感じることや生きる幸福度が高まったと感じますか



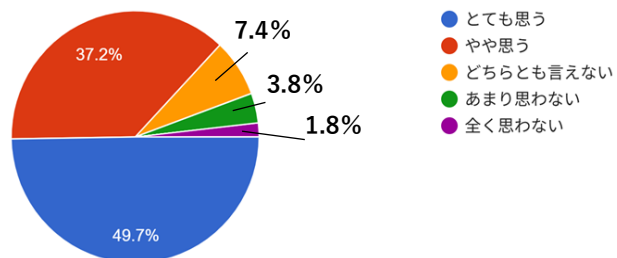
松商学園での高校生活を振り返って成長した実感がありますか



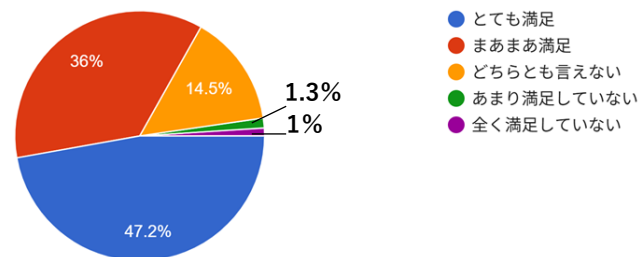
高校生活を通じて身についた能力の自己評価 (観点別)



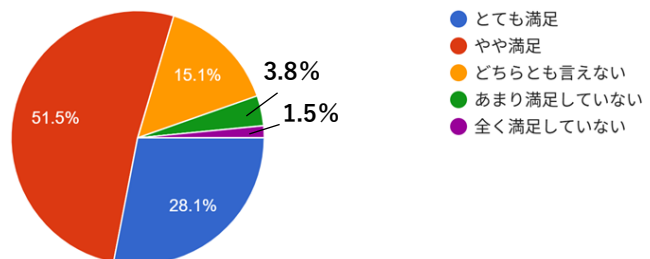
松商学園に入学して良かったと感じていますか



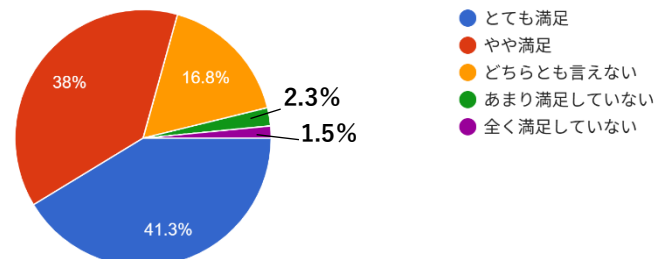
卒業後の進路に満足していますか



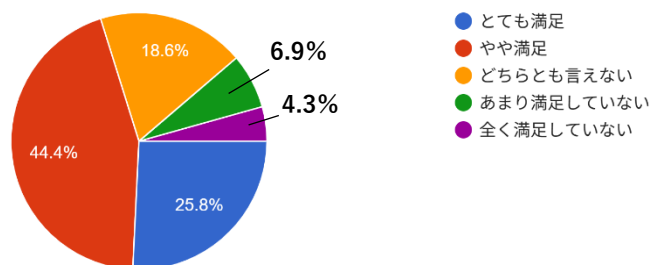
教育（授業や資格取得等）内容全般



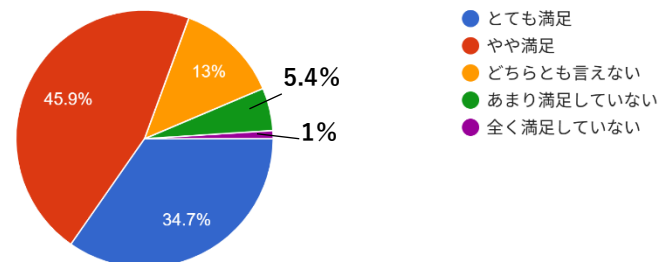
進路支援体制



教員による指導・支援

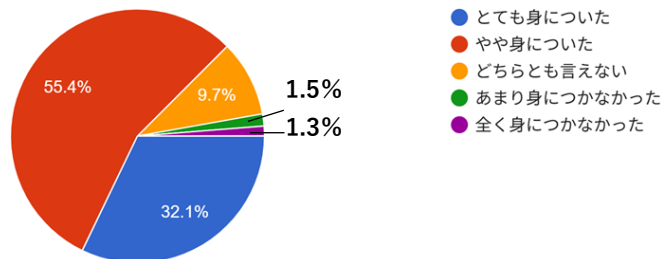


学校施設・設備

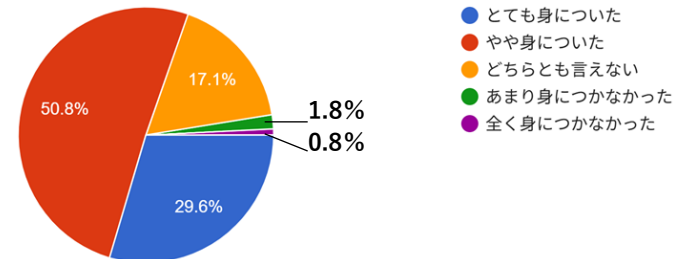


成長実感 (グラデュエーション・ポリシーの保護者評価)

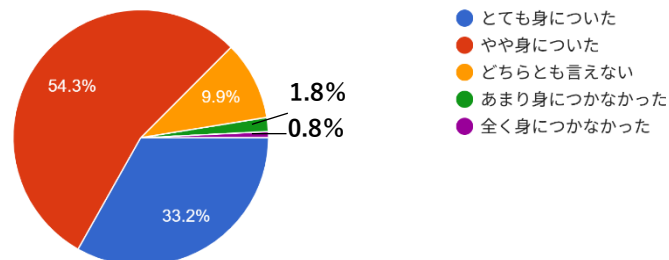
教科・科目の知識や技能



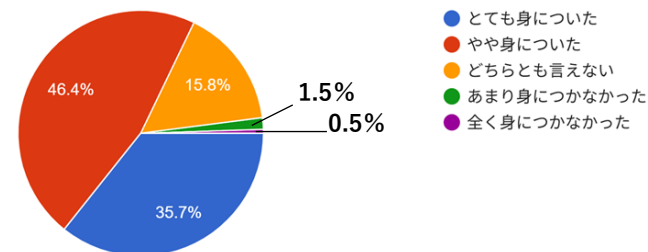
自身の考え方を伝えたり、発表する能力



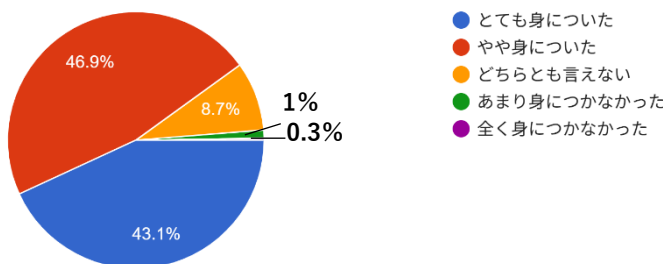
思考力 (考える力) や情報収集、分析力



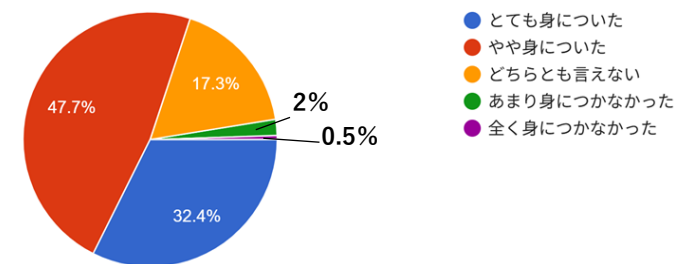
主体的に行動・活動する能力



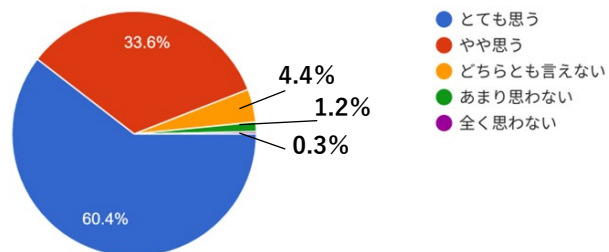
他者を尊重した意見交流、意見の違いの理解



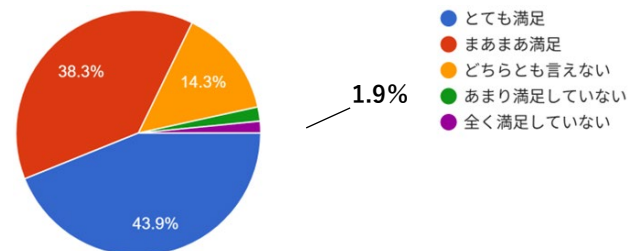
社会の発展のため貢献したいと思う意欲



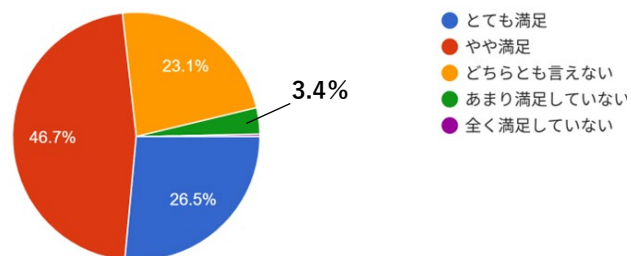
松商学園での高校生活を振り返ってお子様が成長した実感が
ありますか



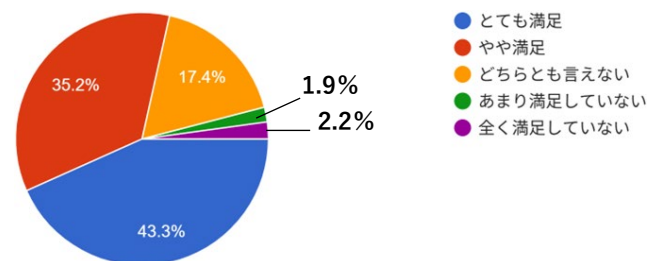
卒業後の進路に満足していますか



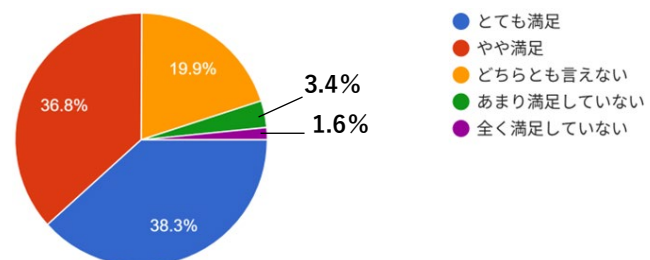
教育（授業や資格取得等）内容全般



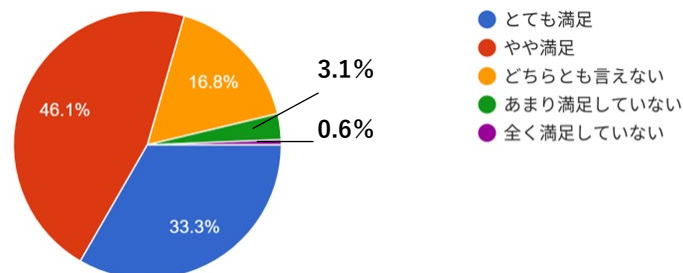
進路支援体制



教員による指導・支援

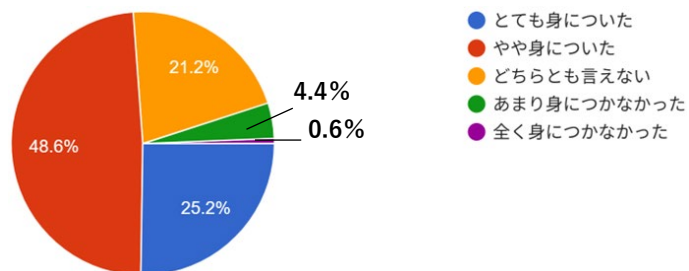


保護者への情報提供はいかがでしたか

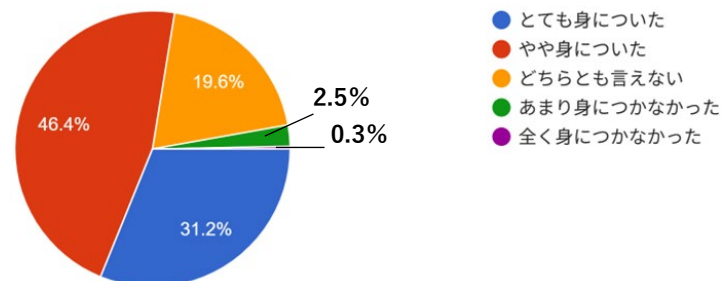


子どもの成長実感 (グラデュエーション・ポリシーの保護者評価)

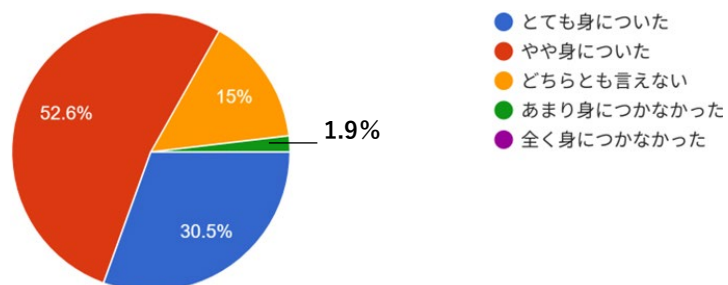
教科・科目の知識や技能



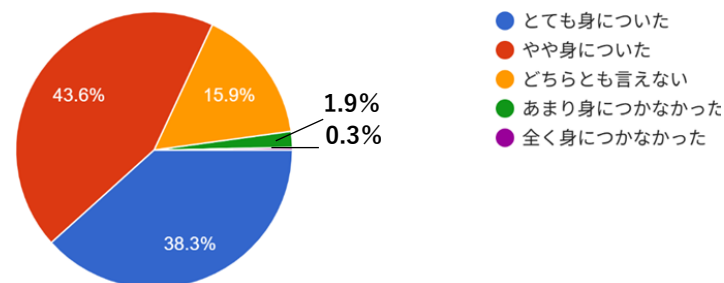
自身の考え方を伝えたり、発表する能力



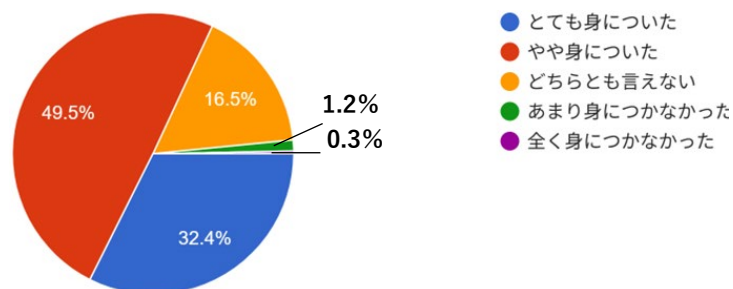
思考力 (考える力) や情報収集、分析力



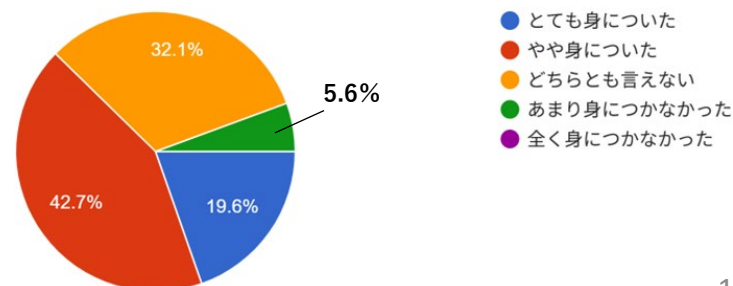
主体的に行動・活動する能力



他者を尊重した意見交流、意見の違いの理解



社会の発展のため貢献したいと思う意欲



自己評価／外部評価

Ⅱ 自己評価結果（総括）

1. 授業評価アンケート結果

本校では2025年12月に全生徒を対象として授業評価アンケートを実施した。回答は延べ18,590件にのぼり、生徒一人当たり平均13.9科目について評価が行われた。全体として、授業の総合評価および満足度は高水準を維持しつつ横ばいで推移しており、特に総合評価においては70%未満の教員が減少するなど、全体的な底上げが進んでいる。質問別では、「話し方」「理解確認」「授業展開」といった授業技術に関する項目が満足度と相関しており、授業改善の重要な視点となっている。また、課題であった家庭学習については3年連続で改善し、50%に到達した。教科別では、すべての教科で84%以上の肯定的評価を得ており、うち7教科で90%以上と高い評価を維持している。

一方で、英語・理科・探究ではやや低下が見られ、継続的な改善が求められる。また、学年別では2年次に評価がやや低下し、3年次に回復する傾向が見られ、学習内容や進路意識の変化に応じた指導の工夫が必要である。

2. 学校評価アンケート結果

2025年12月に実施した学校評価アンケートでは、生徒94.4%、保護者83.9%、教員93.5%と、いずれも高い回答率を得ており、本校の教育活動に対する関心の高さがうかがえる。本アンケートは、共通設問および満足度設問を通じて、学校運営全体に対する評価を多面的に把握するものであり、その結果から本校の強みと課題が明確となった。

（1）保護者の評価

保護者からは、「ホームページ」「家庭連絡」「保健・安全」に関する項目で肯定的回答が増加し、特に「学校行事」「ホームページ」は約9割が肯定的評価となった。この結果は、学校からの情報発信の充実や、行事運営の安定性が保護者に適切に伝わっていることを示している。また、「家庭内会話」の増加が見られることから、学校の教育活動や生徒の様子が家庭に共有されやすい環境が整いつつあると評価できる。一方で、自由記述からは、さらなる教育内容の充実やきめ細かな対応を求める意見も見られ、保護者の期待の高さがうかがえる。今後は、現在の高評価を維持しつつ、個別ニーズへの対応や双方向のコミュニケーションの深化が求められる。

（2）生徒の評価

生徒の回答においても、「ホームページ」「家庭連絡」「教育目標の実施」「家庭内会話」において肯定的回答が増加している。また、「保健・安全」「学校行事」に関しては約9割が肯定的であり、学校生活全体に対する安心感と満足度の高さが示されている。学校満足度に関する設問では、「入学してよかった」「所属コースを選択してよかった」といった項目において高い評価が見られ、本校の教育内容やコース編成が生徒の期待に据えていると考えられる。一方で、「生活指導」については教員の評価との間に差が見られており、生徒側の受け止め方との乖離が課題として浮かび上がった。この点については、指導の意図や方針をより丁寧に伝えるとともに、生徒理解に基づいた指導の在り方を再検討する必要がある。

（3）教員の評価

教員の回答では、「ホームページ」「教育目標の実施」に関する肯定的回答が増加しており、学校としての方針や取り組みが教職員に浸透していることが確認できる。また、「保健・安全」「教員の行動・態度」については9割以上の高い肯定的評価となっており、安全で規律ある教育環境が維持されていると評価できる。一方で、「課外活動」に関する肯定的評価が減少し、否定的評価が増加している点は重要な課題である。これは、部活動や校務分掌の負担増加など、教員の業務量に関する問題を反映している可能性が高い。さらに、「生活指導」に関しては教員の自己評価は向上しているものの、生徒評価との間に差が見られることから、指導の質そのものに加え、指導の受け止め方や信頼関係の構築が課題となる。

（4）三者比較から見える特徴と課題

保護者・生徒・教員の三者比較からは、以下の特徴が見られる。「ホームページ」「教育目標の実施」など、学校の方針や情報発信に関する項目は三者ともに評価が向上している「保健・安全」「学校行事」は三者共通で高評価であり、本校の安定した強みとなっている一方で、「生活指導」や「課外活動」については、立場による評価の差が見られるこれらの結果から、本校は学校運営の基盤部分（安全・行事・情報発信）においては高い評価を維持している一方、教育実践の具体的な場面（指導・活動）において改善の余地があることが明らかとなった。¹⁶

Ⅱ 自己評価結果（総括）

3. 卒業時アンケート結果

2026年2月から3月にかけて実施した卒業時アンケートでは、生徒91.6%、保護者74.8%と高い回答率を得ており、本校の教育活動の最終的な成果を把握するうえで信頼性の高いデータが得られた。本アンケートは、3年間の学校生活を総括する位置づけにあり、生徒および保護者がどのように本校の教育を評価しているかを示す重要な指標である。

生徒の回答からは、学校生活全般に対して概ね高い満足度が示されており、特に進路実現や学習活動、学校行事等を含めた総合的な経験に対する肯定的評価が多く見られた。これは、日常の授業や学校行事、進路指導などの教育活動が有機的に結びつき、生徒の成長に寄与していることを示している。

また、在学中の授業評価では学年進行に伴う評価の変動が見られる一方で、卒業時には総合的な満足度が高くなる傾向が見られ、最終的な達成感や自己成長の実感が評価を押し上げていると考えられる。保護者の回答においても、子どもの成長や進路実現に対する評価を中心に肯定的な意見が多く、本校の教育活動が家庭からも一定の信頼を得ていることが確認できる。

一方で、自由記述等からは、学習支援や個別対応、情報提供のさらなる充実を求める声も見られ、卒業時点においても改善の余地が残されていることが示唆される。これらの結果から、本校の教育は3年間を通じて一定の成果を上げているものの、在学中の各段階における満足度向上や個別最適化の視点を一層強化する必要があると評価できる。

4. 全体評価

本年度の授業評価アンケート、学校評価アンケート、卒業時アンケートの結果を総合的に分析すると、本校の教育活動は全体として高い水準で安定しており、教育の質が着実に維持・向上していると評価できる。

まず授業面においては、全教科で高い肯定的評価を維持しつつ、特に評価の低い教員が減少するなど、学校全体としての授業力の底上げが進んでいる点が大きな成果である。また、授業改善の具体的要素（話し方・理解確認・授業展開）が明確になっており、今後の改善の方向性も共有されている。

学校運営面では、「保健・安全」「学校行事」「情報発信」などの基盤的な領域において、生徒・保護者・教員の三者から高い評価を得ており、安心・安全で安定した教育環境が確立されていることが本校の強みである。特に、ホームページや家庭連絡の充実により、学校と家庭との連携が強化されている点は大きな成果である。また、近年全国的に生徒を取り巻く環境の安全性が脅かされており、事件、事故、いじめなどの被害から生徒と保護者を守るための対策を講じてきたことで大きなトラブルの発生を防げていることも評価につながっていると言える。

さらに、卒業時アンケートにおいて高い満足度が示されていることから、日々の教育活動が最終的に生徒の成長実感や進路実現につながっていることが確認でき、教育活動全体としての一貫性と成果が認められる。

一方で、課題も明確である。家庭学習のさらなる定着と学習習慣の質的向上学年進行に伴う満足度の変動（特に2年次の低下傾向）への対応生活指導における教員と生徒の認識の差課外活動や校務における教員負担の増加個別ニーズへの対応のさらなる充実これらの課題は、教育の質をさらに高めるための重要な改善ポイントであり、今後の学校運営における重点事項と位置付ける。総じて、本校は基盤の安定した学校運営のもとで教育の質的向上を着実に進めている段階にあり、今後は「質の均一化」から「質の深化・個別最適化」へと発展させていくことが求められる。そのためには、授業改善の継続、データに基づく教育実践の推進、生徒理解の深化、そして教職員の働き方改革を含めた持続可能な教育体制の構築が不可欠である。

今後も本校は、社会の変化や生徒の多様なニーズに対応しながら、教育活動のさらなる充実と発展を目指していく。

評価項目	5段階 評価平均	所見
学習指導	4.4	・SSH成果発表会に、息子が参加できる機会をつくって頂きました。生物に、より一層興味を持つことができ、取り組む事ができました。探究心を伸ばす、とても良い機会だと思いました。 ・SSHに関わった生徒、先生ともに1年間を通して熱量高く、レベルの高い活動してきたことがよく伝わってきました。学内の自信につながっているほか、高い教育理念の実践の一端として学外からも高く評価されていると受け止めています。 ・文理融合型SSHの取り組みへの結果が学校外へも広がり始めていることで評価が上がっていると感じられる。 ・特別活動や課外授業により生徒の主体性が感じられ深い学びや良い結果に繋がっている。 ・短期の国際交流などで今後も世界に目を向けていってほしい。
進路指導	4.8	・大学も就職も、高い実績を誇っていると思いました。 ・進路先が多彩で、生徒たちの多様性を大切にしながら進路指導をされていることがうかがえます。学校側も大変かとは思いますが、就職にあたって多くの卒業生が信州に戻ってくる卒業生たちが増えるよう、繋がりを持っていてほしいと思います。 ・進学においては有名国公立、私立の大学をはじめ、かなり良い進学率になってきていると感じているので今後とも続けていってほしい。 ・就職率と合わせて就職先の企業が有名大学卒業でも入れないような企業には入れることは一つの強みであると思うので、ここも伸ばしていってほしい。
生徒指導／ 登校支援	3.4	・ヘルメットをかぶっていない生徒を見かけるので、ご自身の命を守る為にも、身につけてほしいと思います。自転車の指導について、更に期待いたします。 ・頭ごなしの指導が効かない時代において、いじめ、SNSの発信など指導にあたる先生方のご苦労は大変だと思います。ですが、生徒たちの行動が先生方の目の届かないところ、地下に潜って行かないようご尽力をお願いします。 ・やはりインターネットによるSNS犯罪や被害については、引き続き子供達を守っていく意味でも重点的な指導や教育をお願いしたい。 ・4月からの自転車運転取り締まりもあるので交通安全指導において、引き続き指導願いたい。
特別活動／ 課外活動	4.2	・全国レベルの部活動が多く、素晴らしいと思います。 ・今年も文化系、スポーツ系ともに活躍する生徒たちがおり、御校の魅力のひとつになっていると認識しています。クラブ活動へのバックアップを引き続き期待しています。 ・運動部において近隣私立校の県外有望生徒獲得や、中高一貫指導による上位有望生徒のエスカレーター進級による強豪化が懸念されるので対策も必要かと思われる。 ・文化系や課外活動においては、確実に結果が増してきているので更なる活躍に期待したい。

Ⅲ 学校関係者評価／外部評価結果

評価項目	5段階 評価平均	所見
生徒募集／ 財務	4.8	・学校の魅力が、わかりやすく掲載されていると思います。 ・学力、制服や施設など学校環境、パンフレット、新聞広告、取材協力といった広報などいずれもしっかりしており、少子化時代を感じさせない募集の多さにつながっていると思います。 ・私立無償化の要因もあるかもしれないが、今までの積み重ねによる松商学園の評価の高さも重なって良い結果につながっていると思われる。
情報公表／ 学校評価	4.6	・松商学園の良さが、あらためてよくわかりました。 ・学校評価に関わるアンケートは、きめ細かく多角的に展開していて素晴らしいと思います。保護者の皆さんから高く評価されている項目も多く、先生方の自信につながっていると思います。ただ、先生がアンケート結果に振り回されすぎないように、心身のケアもお願いいたします。 ・適切に管理されていて問題なく評価できる。 ・Instagramなどによる学校行事などの情報発信が非常に早く生徒達の様子がうかがえてありがたい。
学校安全	4.2	・体育館へのエアコン設置は、大変有難いと思います。 ・総合防災訓練の実施など危機管理にも取り組んでいると受け止めています。 ・令和8年度も講堂へのエアコン設置、中庭整備等の施設整備の計画もあり環境的にも良くなっていくと思われる。 ・寮などの学校から離れた施設の維持や必要に応じた整備もお願いしたい。
総合評価		・今回初めて参加させて頂き、松商学園での取り組みなど、詳しく知る事ができました。大変貴重なお時間を頂きまして、誠にありがとうございました。 ・生徒募集の結果やアンケート分析など、奏功されていると思います。松商第一志望の生徒が、しっかり入学できるような、情報発信や、環境づくりを望みます。我々もお手伝いできれば幸いです。 ・AI時代にリーダーシップを発揮できる若者を育てるためには、ITの技術を教えるだけでなく、考える力を育てていくことが重要だと思います。そのためには、校長先生が重視されているアクティブラーニングが不可欠だと思っていますので、私立高校ならではの教育実践に引き続き期待しております。 ・新年度の受験応募数や新入学制数からも、松商学園の長野県での人気や評価の高さを非常に感じているので、今後とも人数が増える分の施設整備や環境整備の拡充や、学習面や進路の充実をはかってもらいたいと思います。

発行者：学校法人松商学園 松商学園高等学校 IR室
発行日：2026年3月31日



学校法人松商学園

松商学園高等学校